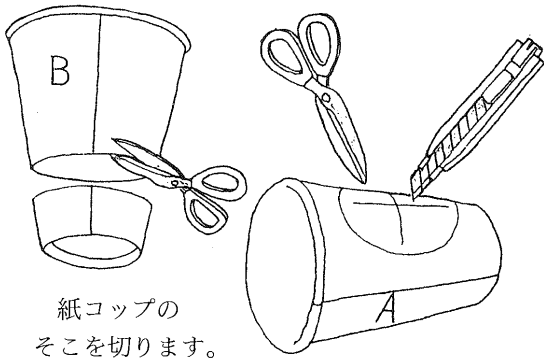


レコードを作ろう

丸く切ったビニルシートをレコードばんにして自分の声をろく音して、聞いてみよう。

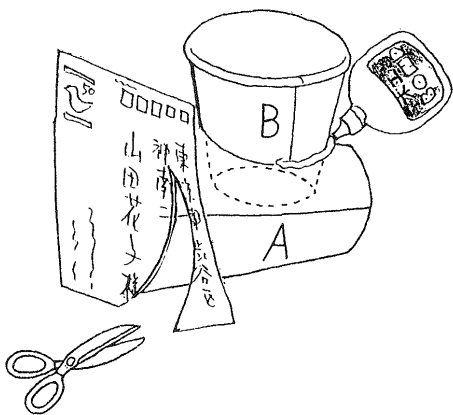
声のふるえを紙コップのマイクとカッターの刃で、ビニルシートにミソをほってきざみこみます。そのミソをなぞると、紙コップから声が聞こえてきますよ。うまくできるかな？

1 マイク (スピーカー) つくり



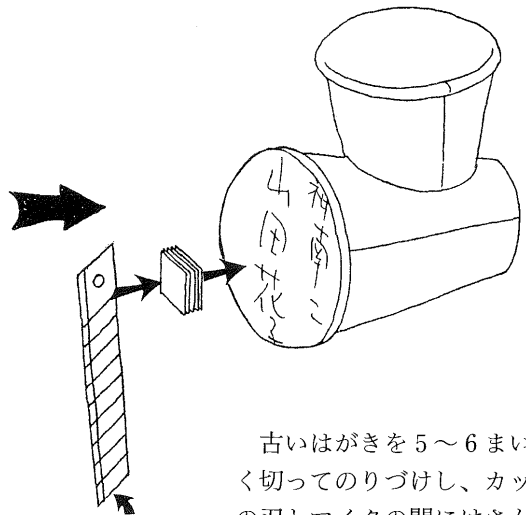
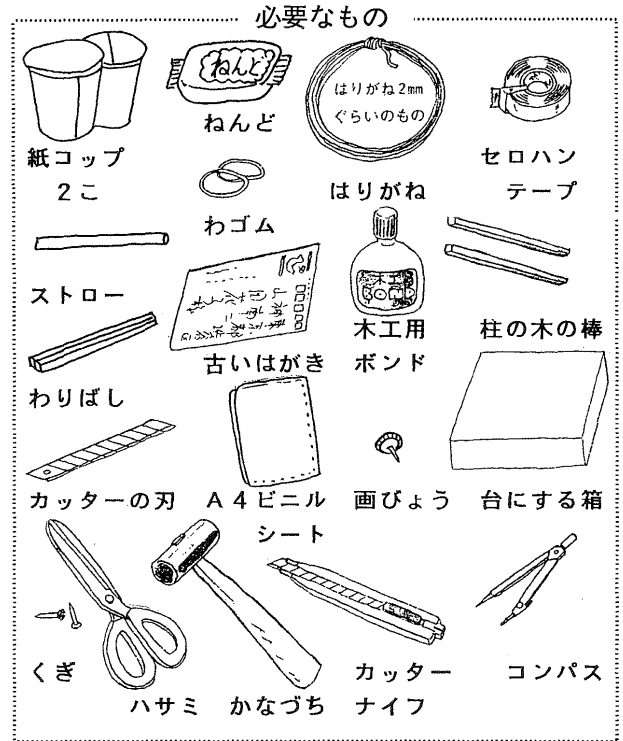
紙コップのそこを切ります。

上からえんぴつでりんかくをかき、切ります。



底を切った紙コップをもうかたほうの紙コップにしっかり、のりづけします。

広い口の部分に古いはがきをはります。



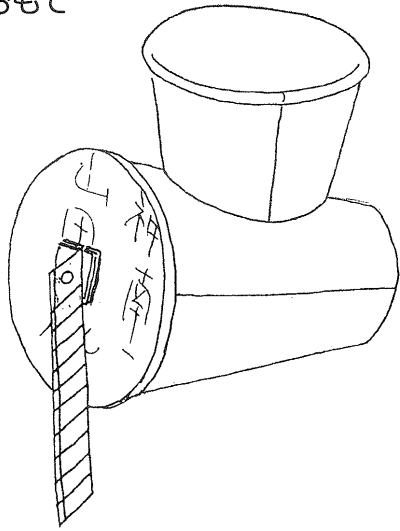
すこしななめに刃をのりづけします。

古いはがきを5~6まい小さく切ったのりづけし、カッターの刃とマイクの間にはさんで、刃がうまくうくようにのりつけします。

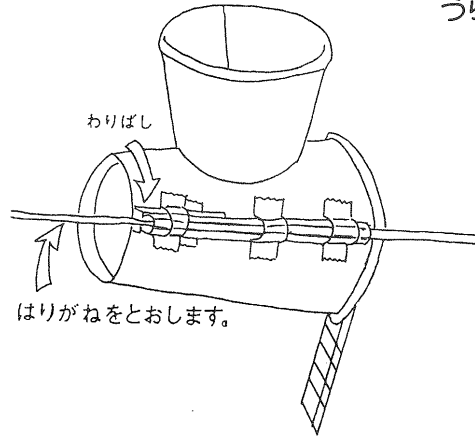
注意

カッターの刃をあつかうときはきをつけて！
おとなの人にてつだってもらおうね。

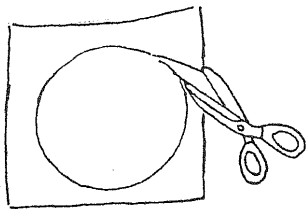
おもて



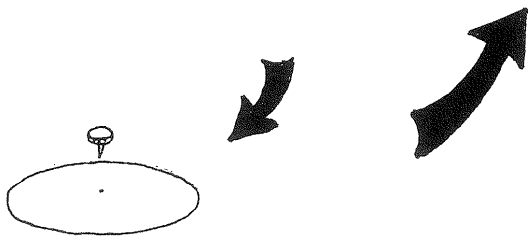
カッターの刃とコップの口の間に台をおくようにして、刃と紙がつかないようにします。



2 レコードばんづくり



(直径20cmくらい)
ビニルシートを丸く切りとります。

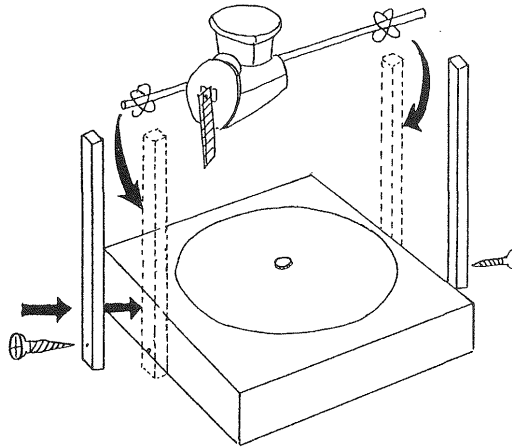


画びょうで台にとめます。

ろくおんするときは、マイクに油粘土をのせて、少し重くして、ビニルシートにカッターの刃がしっかりくいこむようにしましょう。声をきくときは、油粘土を少し軽くします。刃がみぞからずれないようにしましょう。丸く切ったビニルシートを、声を吹き込みながらスムーズに回せるようにできるかどうかカギです。

また、刃がつぶれたら、新しい刃に取りかえましょう。

3 レコード台をつくる



かたい箱(または厚さ1cmほどの板)を台にします。台に柱をくぎでとめ、マイクに通した針金を柱に輪ゴムでとめます。

